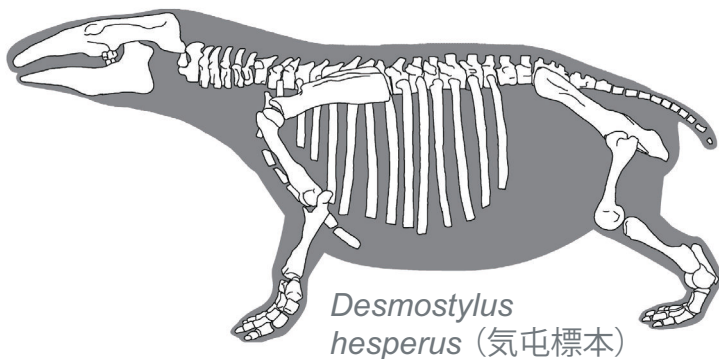


博物館へ行こう!

博物館で見られる動物達 - デスマスチルス

このコーナーでは、足寄動物化石博物館で展示されている動物達を紹介していきます!

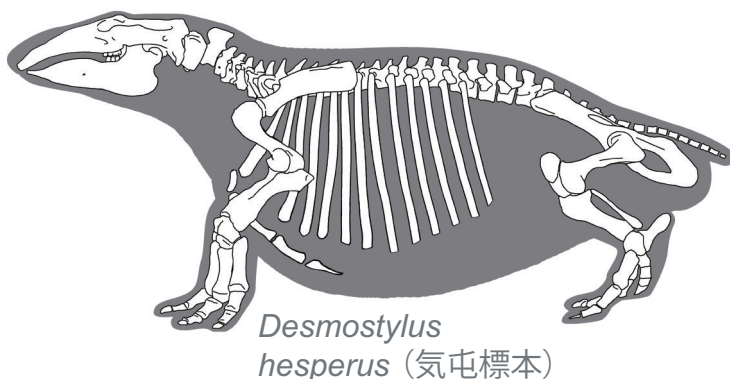
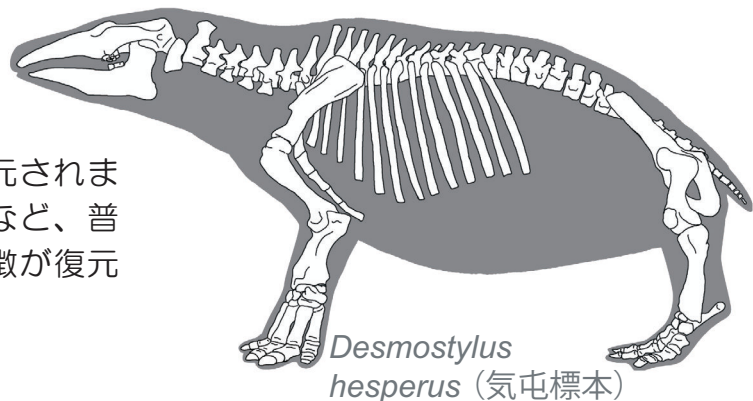


長尾復元 (1936年)

1933年に樺太で発見された気屯標本を元に復元した、世界で最初のデスマスチルスの全身復元骨格です。現生のカバがモデルです。

亀井復元 (1965年)

関節が脱臼しないように復元されました。前足が横を向いているなど、普通の陸上の哺乳類とは違う特徴が復元されています。



犬塚復元 (1984年)

骨格だけでなく、筋肉や腱の状態から手足の動きを考慮して復元されました。爬虫類のようにヒジやヒザが外側を向いているのが特徴です。

○研究発表の報告

◇日本古生物学会（6月11～13日）「歯のあるヒゲクジラの研究発表」

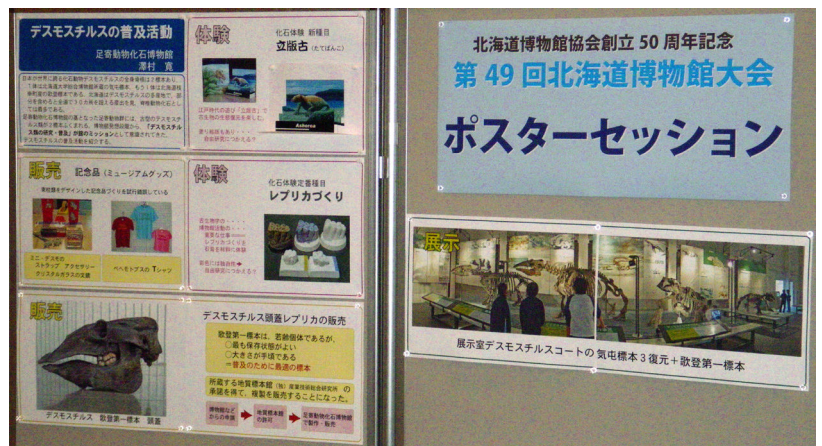


6月11～13日、茨城県つくば市で開催された日本古生物学会に澤村 寛館長が参加し、「ヒゲクジラのヒゲは歯周組織である」という題で、1992年に発見されたクジラ化石の研究発表をおこないました。ヒゲクジラのヒゲの起源が、足寄のクジラ化石から解明できそうだ、という内容で、歯の周辺の骨の構造を報告しました。

澤村 寛館長による発表

◇北海道博物館大会（7月9～10日）「デスマスチルスの普及活動」

7月9～10日、札幌市で開催された北海道博物館大会で「デスマスチルスの普及活動」を報告しました。足寄動物化石博物館では計画段階から、デスマスチルスの研究・普及の推進を館の使命としてきました。従来のTシャツなどの販売やレプリカづくりに加えて、この夏から始める「立版古（たてばんこ）」（4ページ参照）を紹介し、注目されました。



○新資料報告

トド



おたる水族館から提供されたトド(み)の標本が収蔵資料に加わりました。6月18日から3日かかりで解剖を行い、現在は骨格標本にするために微生物処理中です。

津別町産の骨化石



津別町で発見された骨化石が収蔵資料に加わりました。発見者からの一報で職員が6月1日に採集し、現在は博物館で骨を石から取り出すためのクリーニング作業中です。動物の種類はまだ未定です。

夏休みは博物館で遊ぼう！！

ミニ発掘に新しいクリスタルが登場
めざせ18種類コンプリート！



今までの11種類に加え、
紫水晶・ペリドット・電
気石・アクアマリン・ル
ビー(大)・サファイア(大)
が出てきます。

自由研究は博物館で！

博物館は自由研究のアイデアの宝庫です。

- レプリカづくり つくったレプリカの化石を調べよう。
- ミニ発掘 発掘をして見つかった化石やクリスタルを調べよう。
- 恐竜立版古 昔の動物の色を復元しよう。

足寄町内の小中学生の皆さんへ

化石体験無料券（1回）をプレゼント！！
（学校で配布します）
レプリカづくりやミニ発掘を楽しもう！
自由研究にも応用できる！！



レプリカづくり



ミニ発掘

○あしよろ化石教室実施報告

◇一回目 足寄町茂螺湾・螺湾（5月23日）

参加人数59名

天候は曇り、気温も低めでしたが、雨は降らなかったため、河岸での化石採集でも快適に行うことができました。

今回の化石教室は、約2500万年前の動物の化石が多く出ている茂螺湾と約500万年前の貝化石を産出する螺湾でした。茂螺湾ではベヘモトプスの産出地を見学し、螺湾では多くの二枚貝の化石や植物化石を採集できました。



◇二回目 釧路市阿寒（6月27日）

参加人数94名

今回は釧路市立博物館の化石教室（35名）との合同で行ったため、一回目の約二倍という大人数での化石採集になりました。天気はうす曇り。猛暑のなかの日照りをわずかながらも避けることができました。

現地では約500万年前のタカハシホタテと言う大きな貝や様々な二枚貝、腕足類など様々な種類の化石を採集できました。また珍しいところではカイギユウ（ジュゴンの仲間）の化石も発見されました。



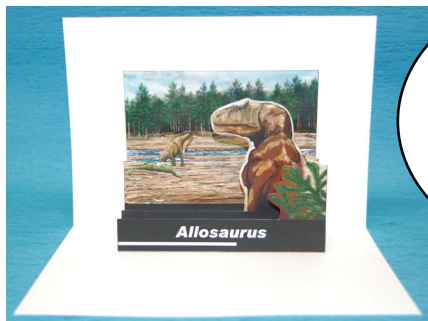
☆☆☆ 化石教室三回目（7月25日）は白糠町右股です。☆☆☆

きょうりゅうたてばんこ
恐竜立版古

飛び出す古代生物を作ろう！

8月6日(金)～12日(木)の一週間毎日実施

上級者コース(小学校中学年～一般向け)

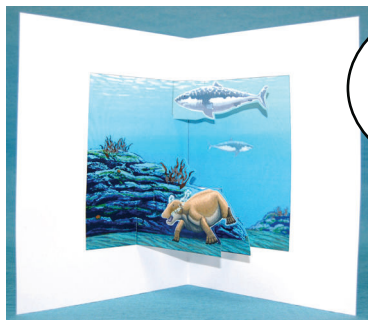


カッターナイフも使うので、小さな子供だけでは難しい場合もあります。その時は大人の方とチャレンジして下さい。

夏休み期間以降は受付にてキット(300円)の販売を行います。

- ◇回数：期間中毎日二回
午前の部 11:00-12:00
午後の部 14:00-15:00
- ◇人数：各回10名(親子での参加もOK)
- ◇参加費：200円
- ◇種類：アロサウルス・ステゴサウルス・アショロア
- ◇参加方法：受付にて整理券配布(先着順)

初心者コース(小学校低学年～一般向け)



ハサミとノリだけで作れるので、小さな子供でも作ることができます。

夏休み期間以降は受付にてキット(200円)の販売を行います。

- ◇回数：期間中毎日一回
午後のみ 13:00-13:30
- ◇人数：各回10名(親子での参加もOK)
- ◇参加費：100円
- ◇種類：ティラノサウルス・デスモチルス
- ◇参加方法：受付にて整理券配布(先着順)

立版古(たてばんこ)とは

江戸時代から大正時代にかけて流行した紙でできた玩具です。錦絵をハサミで切り、ノリを使って台紙に奥行きを持って貼り付けて、芝居の場面を再現していました。江戸時代に印刷物を「はんこう」と呼び、それを切り抜いて組み立てた事からこの名称になりました。

恐竜立版古は、古代の生物を古くからある立版古で表現すると同時に、開くと飛び出すと言うポップアップの要素を取り入れた新しい立版古です。



作ったら折りたたんでみよう！

夏休みの自由研究用の恐竜立版古も受付にて販売！

恐竜は何色だった？どうしてキミはその色に恐竜をぬったか。昔の動物がどんな環境で生活していたのか考えながら色を考えてまとめてみよう！



休館日(7月 8月 9月 10月)

夏休み期間(7月19日～8月31日)は毎日開館します。その他の期間は通常どおり毎週火曜日が休館日です。

編集後記

今年2号目の博物館だよりをお届けします。暑い夏の日には、博物館の骨格標本を見て涼しくなっている感じがでしょうか。雨の日や曇りの日？自由研究にもってこいですね。